

# 桐鈴凛々

第120号  
平成30年7月10日発行  
発行責任者  
社会福祉法人 桐鈴会  
理事長 黒岩秩子  
南魚沼市浦佐 5142-1  
電話 025-780-4118  
FAX 025-777-3731  
e-mail  
[info@toureikai.com](mailto:info@toureikai.com)  
<http://www.toureikai.com/>

## 秩子の部屋

グループホームひまわり入居者  
丸山進一さん



丸山進一さんは、家族の皆さんから末っ子として十分に愛されてきたのでしょうか、いつもおだやかです。コミュニケーション能力が高くて、誰とでも話ができます。仕事もなんでもできて、以前は工房とんとんでパン作りをしていましたが、今は、厨房で皿洗いなどを行っています。張り切っていて、元気もりもり仕事大好き人間です。

車や工事現場が大好きです。とんとんが休みの日は、天王町の自宅の前で車をじっと何時間でも見ています。進一さん、できることなら、外でだれかと出会ったら、「こんにちは」と言えたらいいですね。

## 桐鈴会の理念

・終のすみかを目指す  
・「迷惑をかけ合える関係」を目指す  
・高齢者、しようがいしや、子どもたちが  
安心して住める地域を創ろう



Q じゃあ「進一さん」にするね。進一さんは浦佐小学校に入ったことがある？

A ない。

Q 小出養護学校だったのね。  
A そう。高等部がなかったから、中学卒業したら更生園に行った。

知的障がいを持つ40歳の進一さんが住むグループホームひまわりを夕食後に訪ねました。居間でインタビューを始めましたが、先日「インタビューなんて嫌だ」と言われていたので、今日は嫌がられないように、メモを取らないことにしました。でも何だか進一さんはとてもうれしそうに應對でした。いつもとは違ってずうっとにこにこしどおし。

(インタビューー 黒岩秩子)

Q お父さんが亡くなったのはいつだったの？

A わからない。自転車に乗って車にはねられた。

Q しんちゃんって言われるのと、進一さんって言われるのと、どっちがいい？

A どっちでもいい。

Q それからここ「ひまわり」に来たんだよね。その頃は「あさひばら」に行ってたでしょ？  
とんとんに2年前に来たんだよね。あさひばらと工房とんとんとどっちがいい？(あさひばらは南魚沼福祉会が運営する就労継続支援B型施設で、畑とか薪作りなど、農業関係の仕事をしている)

A とんとん。

Q どうして？

A ー

Q とんとなの方が給料がい  
いよね。——やはりに  
ここに。

Q とんとなでは、パン班で、  
袋に入れたりラベルを貼ったり  
していたんだよね。3月から浦  
佐認定こども園の厨房に就職し  
た人がいて、その後に厨房に移  
ってきたんだよね。パン班と厨  
房とどっちがいい？

A 厨房。パン班もよかった。

Q お家のこと聞くな。お母さ  
んと紀代子姉ちゃんと、やす子  
姉ちゃん(鈴懸の職員)と4人  
で旅行に行くんだって？

A うん。  
箱根とかの観光地に行ってい  
たそうです。

Q 家ではご飯はだれが作る  
の？

A 紀代子姉ちゃん。

実は、この紀代子姉ちゃんが、  
1歳の時、私が保育所で担任し  
ていました。つい先日、何十年  
ぶりかで紀代子さんと会いまし  
た。彼女が一家の大黒柱として、

家族4人で毎年旅行に行ってい  
る話を聞いています。

Q 足の手術でたいへんだった  
んだよね。入院してるときは  
何をしていたの。

A 何もすることない。

Q 退屈だったよね。(新潟市  
の病院なので、私はとうとうお  
見舞いに行けず。ひまわりの職  
員が行ってくれてもせいぜい週  
に1回ぐらい。脊椎の手術の後  
遺症)

A うん。  
足の手術の後、補装具をつけ  
て歩きにくそうに歩いています。

障がい者長崎打楽団

瑞宝太鼓



桐鈴会 20周年実行委員会

小林裕子・中村和子

桐鈴会が来年で20周年を迎  
えるにあたって、実行委員会が  
立ち上げられました。その話し  
合いの中で長崎打楽団「瑞宝太

鼓」を取り上げたいという声  
上がり、6月2日、寺泊での公  
演に実行委員会で見に行ってい  
きました。

演奏が始まり、その迫力にび  
っくりしました。音の響きでホ  
ール全体の空気が変わるので  
彼らの呼吸や表情、演奏から目  
を離すことができません。曲目  
に合わせて楽しい雰囲気や、繊  
細な太鼓の音を、身体いっぱい  
に表現する姿、会場の観客が巻  
きこまれ、自然に身体が動きだ  
し引き込まれていきます。何よ  
り彼らが演奏を楽しみ、伝えたい  
気持ち観客に伝わる。それが  
この「瑞宝太鼓」の持つパワ  
ーなんだと思います。曲の合間  
にメンバーが進行してくれるの  
ですが、人前で話すことにとて  
も緊張している姿と演奏の表情  
の違いに少し安心もします。

「瑞宝太鼓」は、知的障がい  
者によるプロの和太鼓集団です。  
2年前にこのグループの母体で、  
「普通の場所で愛のある暮らし」  
をスローガンにかかげる、長崎  
県雲仙市の社会福祉法人「南高  
愛隣会」を知りました。知的障  
がいがあっても恋愛はもちろん、



後列中央瑞宝太鼓のメンバー2人とつよに

結婚してグループホームで一  
緒に暮らし、子どものいる方もメ  
ンバーには多いのです。それに  
は地域のボランティアの支えが  
大きく貢献しています。年内に  
は、ドバイの公演、来年の初め  
にはフランスでも公演を予定し  
ているそうです。

今回桐鈴会の20周年行事と  
して「瑞宝太鼓」を招待する  
かどうかは、これから検討され  
るところですが、この感動をより  
多くの人と共感できたらと思  
いました。

(瑞宝太鼓のドキュメンタリー  
映画ができています。「幸せの  
太鼓を響かせて-INCLUSION-」)

祝

# 鈴懸おはようヘルプ

## 15周年



「15周年を迎えて」

おはようヘルプ管理者

平本恵子

「あれ？ヘルパーって15周年だっけ？」と、奇跡的に思い出しました。鈴懸おはようヘルプは、平成15年6月1日に開設、今年15周年を迎えました。皆様に感謝の気持ちを込め、去る6月9日（土）にケアハウス鈴懸サニールームにて2時間限定のヘルパーカフェを開店しました。おかげさまで大盛況。ヘルパー総動員で、利用者さんや職員を、手作りおやつでお迎えしました。不在の利用者さんには工房とんとのクッキーをお配りしました。皆様いかがでしたか？勝手に大好評と評価しています。これからも、どうぞよろしくお願いたします。



談笑する鈴懸入居者



メニューは、ホットケーキ、水ようかん、ごま豆腐、芋もちと各種お茶

夫の介護をして想うこと  
ケアハウス鈴懸入居者

青木ヨシノ

おはようヘルプ開設15周年おめでとうございます。

時の流れは早いもので私たちが夫婦が鈴懸に、お世話になってからもう18年が過ぎました。泣いたり笑ったりして暮らし、やっと落ち着いた頃、夫新一郎が、くも膜下出血で倒れ入院。退院後から「おはようヘルプ」のお世話になりました。

当時、今のサニールームはゲートボール場でしたが、その後改造され、現在のヘルパーステーションが出来たのです。ここで働いているヘルパーさん達の介護を、亡くなるまでの10年間受け、夫は天国へ旅立ちました。

あるヘルパーさんはユーモアたっぷり、又ある方は挫折そうになる夫を叱咤激励してリハビリに奮い立たせて下さり、お風呂の話から始まり、最後の看取りまでを優しくお世話して頂いた事、

今はただ感謝の気持ちでいっぱいです。

今はもう思い出だけの毎日ですが、ヘルパーさん達の援助がなければ、老々介護の夫婦が最後まで一緒に暮らすことは無理だったと思います。鈴懸に来ておはようヘルプの皆さんにお会い出来たことを幸せに思います。今後、私たち入居者が介護を受ける身になりました。この恩恵を受けながら幸せに生きて行けますように、おはようヘルプが益々発展して行く事を心からお願いペンをおきます

**7月7日～8月25日の土曜に期間限定！**  
**とんがモーニング**  
**7:00～9:00はじめます。**



**モーニングセット(ドリンク付き) ¥500～**  
**すざカフェ able**

かわいい内容は、Facebookで更新中！  
 夏の涼しい時間をカフェでのんびり過ごしませんか？

## 自己研究 自己研究して 判明したこと（前編）



工房とんとん利用者

小林あゆみ



この原稿は「萌気会・桐鈴会・  
うおぬま調剤株式会社合同発表  
会」において、小林さんが発表  
したものです。長文なので前後  
2回に分けて掲載します。

工房とんとんの施設長、鈴木  
智子さんに自己研究をしてみな  
いかと誘われました。元々私は  
ノンフィクション作品が好き  
なことも手伝い、自分に研究の焦

点を当てるのはおもしろそうだ  
と思い、今回の自己研究を引き  
受けました。

何かを研究するという経験を  
したことがないので、とりあえ  
ず自分のことを紙に書き出しま  
した。自分の名前からはじまり、  
家族構成、性格を連想ゲームの  
ように繋げていきますと、私の  
持つ病気、「うつ病」に辿り着  
きました。

私は、この病気と10年以上つ  
きあっています。正直なところ  
「長過ぎる」と感じています。  
うつ病関連のエッセイを読むと  
大抵の方は1、2年で完治して  
いるので、自分の場合はなぜこ  
んなに長いのだろうと不思議に  
思っていました。そしてうつ病  
から連想する、自分の困ってい  
ることを書き出していたら、「集  
団行動が苦手」、「騒音に過敏」、  
「学力の遅れ」などを認識しま  
した。そうしてならべてみると、  
なんだか発達障がいや、自閉症  
の症状の一部に似ていることに  
気づきます。

その日は集中が切れたので、  
書いた分の紙をとりあえず鈴木  
さんに提出しに行きました。研

究のやり方は、これを話し言葉  
にして文章に書き直せばよい、  
と言われたので、私はひと安心  
し、鈴木さんと談笑しました。

その時、私はこう言いました。  
「主治医から、『発達障がい  
かもしれないですけど、どう思  
いますか?』と訊かれたことがあ  
るんですけどね…」この「ある  
んですけどね…」の言葉の次、  
私は「それとも違うんですよ、  
私の場合」と言うつもりでした。

鈴木さんは私がそれを言う前に  
「私も実は、小林さんは発達障  
がいかも、って思っていたの  
よ!」と言いました。「マジか?」  
って思いました。思いましたけ  
ど、自分が聴覚過敏だったり、  
集団行動が苦手なのは自覚して  
いるので、鈴木さんの言う通り  
かもしれないと頭のなかでグル  
グル考えながらその日は帰宅し  
ました。タイミングのよいこと  
に、その数日後が精神科の通院  
日でした。



私が通院する精神科の先生と  
は10年くらいのお付き合いだ  
と思います。通院するときは母

にいつも付き添ってもらい、診  
察室の中で最近の状態などの報  
告をするとき、服薬の副作用で  
記憶が曖昧な私の代わりに説明  
してもらったことが多々あったの  
です。その日は、今日は一人で  
行ってみたいと告げました。な  
げならば、発達障がいの可能性  
をきっぱり否定したのは、私よ  
りも当時の母だったのです。

母は、幼稚園教諭として長く  
勤めていました。その際、発達  
障がいの児童も受け持ったので、  
その観点でいえば幼児期の私は  
ごく普通の子どもだったのです。  
また、私は母の勤める幼稚園で  
なく、保育所に通っていたので  
周囲から浮いていたり、何か変  
わったことがあれば、保育士が  
連絡帳で知らせてきたはずだと  
言いました。

私自身も、発達障がいの専門  
書で傾向を読んでも、当てはま  
る事より当てはまらないことが  
多かったのです。「自分は発達障  
がいではない」と信じていまし  
た。信じてはいるけど、どうに  
も腰のすわりが悪いような、靴  
の上から足を搔いているような  
落ち着かない気持ちが押し寄せ

ます。脳内では「もしや、もしや」と「岸壁の母」のサビが流ればはじめたところ、母の運転した車は病院に到着し、私は主治医に相談する腹を決めました。私の主治医は、精神科のお医者様の中では、良い先生なのだろうと思います。でも私は主治医が超のつく理数系と知ってからは、なるべく現状を伝える際は数式のようにわかりやすく翻訳するように心がけています。



そして、診察の時間がきて私は思い切って主治医に訊きました。「私は発達障がいですか？」と。主治医は「私は初診の時から発達障がいだろうと見ていました」。何と言っているのか、あまりに身も蓋もなくて、私は心の中でお笑い芸人のごとく盛大にズッコケました。その時の謎の疲労感を例えるならば、スキアのジャンプで飛びすぎて東尋坊から落下し、鳴門海峡で千々に乱れ揉まれ、浜辺に打ち上げられ、なおかつ身体に昆布がからまったような気分でした。

(後半は次号)

## 五十嵐悦子さんを偲んで

ケアハウス鈴懸統括施設長 森山里子



五十嵐さんは平成16年5月に鈴懸に入所しました。2年ほど前に入所申し込みをしていましたが、待機者が沢山いて当分は入れそうにないと、坂戸レジデンスに入居しながら鈴懸に入所できる日を待っていました。それまでは東京で生活していましたが、電磁波障害がだんだんひどくなって都会では住めなくなつての入所でした。

その当時私が鈴懸の施設長をしていましたが、私は電磁波障害というものをそれまで知らなかったもので、なかなか受け入れは大変でした。電磁波の測定器を使って全館を測定し、少しでも電磁波の低い部屋をといてから入居後何年かたってから居室の引越をしたりもしました。化学物質過敏症でもあり、なかなか鈴懸で生活していくのは大

変そうでしたが、少ない年金の補いにと、それまで東京でやっていた浄水器の通信販売の仕事をやりながら、13年半ほど鈴懸での生活をされました。



フラダンス衣装の五十嵐さん

若いときは洋裁や、帽子製作、アートフラワーなどを仕事としてやっておられ、フランスでの生活も長く、なかなかおしゃやれな方で、部屋には若かりし頃の女優さんのような素敵な写真が飾られていました。

21年に乳がんの手術をし、28年には圧迫骨折になり、介護保険の利用も始まりました。すでに26年には理事長あてに「要望書」として尊厳死を選ぶこと、葬儀は友人葬とし、夢草堂で行うことなどを文書にして提出しています。

28年秋に乳がんが再発し、29年2月には再度の手術を受けましたが、秋には肋骨や腹部にも転移してしまいました。それでも歩行器を押して自力で基幹病院に通院し、3月21日には小出の「いな穂」で米寿のお祝いを弟さんや義姉たちからいただいたが、好物の牡蠣を食べることができたと喜んでいられました。

創価学会の熱心な信者であった五十嵐さんは自力での通院が困難になると、主治医を基幹病院から萌気園に変え、訪問診療に切り替えました。在宅酸素になり、訪問看護も入るようになりました。4月のことです。そのころ部屋に伺った際に「私は信仰の力できつと苦しむことなく逝けると思うわ」とおっしゃいました。私も以前から痛みや

苦しみは心のありようです。いぶん変わるものだと聞いています。なので、「そうですね。きっと苦しまずに逝けますよ」と言いました。

5月に入ると体力がぐっと落ち、ほとんど食べ物も受け付けなくなりました。一日中ベッドで過ごすようになり、流動食を少し口に、アイスクリームとお茶だけになりました。みそ汁

がおいしいと言ったこともありました。具合はどうですかと聞くと「良くない」とだけ言いました。苦しいところや痛いところはありませんかと聞いても「ない」と言います。主治医の巖志

先生も、がんの末期であちこちに転移しており、本人が痛みや苦しみが無いのが不思議なくらいだとおっしゃっていました。

4月26日からおむつ対応となりましたが、おむつは嫌と言って、亡くなる前日まで、体力的にも随分厳しい状態でしたが、2人介助にてポータブルトイレで排尿していただきました。5月12日、深夜1時すぎの見回りで昏睡状態となり、宿直者の連

絡で駆け付けた石田施設長と私が見守るなか、早朝死亡が確認されました。

生前は自我が強く利用者や職員ともかなり軋轢がありました。が、信仰に支えられた五十嵐さんの最後は本当に立派だったと頭の下がる思いでした。合掌。

自ら準備した衣装で旅立たれました。

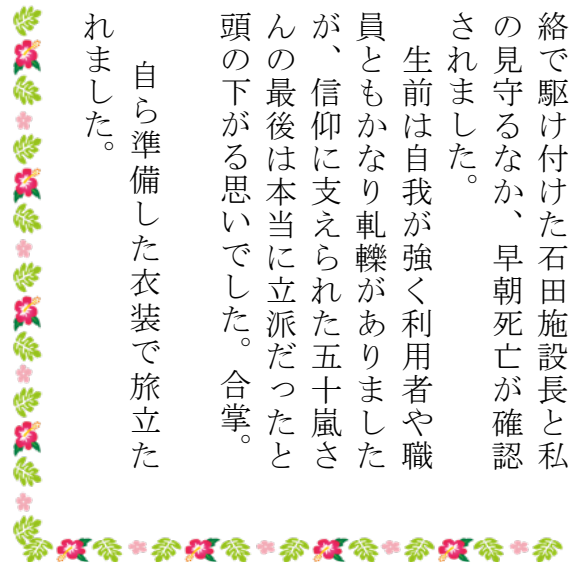
## 野上公平氏作品が、 鈴懸の玄関に

理事長 黒岩秩子



知る人ぞ知る彫刻家、野上公平さんの作品を2点、ご遺族から寄付していただき、鈴懸玄関の両脇に飾られました。そこはこれまでいろいろな植物を植えても日陰だったりして、植物たちにはかわいそうだった、そんな空間がみるみる蘇って、何物かのメッセージを見る人に与えてくれています。

野上公平さんは、1934年塩沢町千石で生まれ、2015年、81歳で亡くなりました。美術の教師として、教え子がこらにたくさんおられます。県知事表彰（芸術文化振興）、文部科学大臣表彰（地域文化功労）なども受けられ、池田記念美術館などで個展が開かれてきました。鈴懸に来られたら、立ち止まって鑑賞してみてくださいませんか？



【風】



【ハーブの響き】

# 平成29年度 社会福祉法人桐鈴会 決算状況

## 資金収支計算書

(自) 平成29年4月1日 (至) 平成30年3月31日

## 事業活動計算書

(自) 平成29年4月1日 (至) 平成30年3月31日

(単位: 円)

(単位: 円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A)-(B)	
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	69,323,000	69,571,230	△ 248,230	
	老人福祉事業収入	59,806,000	59,916,009	△ 110,009	
	就労支援事業収入	13,834,000	13,728,439	105,561	
	障害福祉サービス事業収入	100,488,900	101,006,120	△ 517,220	
	ショートステイ事業収入	949,000	968,380	△ 19,380	
	経常経費寄附金収入	430,000	430,000	0	
	受取利息配当金収入	1,042	958	84	
	その他の収入	4,971,536	5,060,795	△ 89,259	
	事業活動収入計 (1)	249,803,478	250,681,931	△ 878,453	
支出	人件費支出	159,604,365	159,129,696	474,669	
	事業費支出	36,497,828	35,680,675	817,153	
	事務費支出	24,210,853	23,004,360	1,206,493	
	就労支援事業支出	14,846,371	14,025,447	820,924	
	支払利息支出	367,850	331,490	36,360	
	その他の支出	3,535,500	3,500,502	34,998	
	事業活動支出計 (2)	239,062,767	235,672,170	3,390,597	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	10,740,711	15,009,761	△ 4,269,050	
	設備整備等による収支	収入			
		施設整備等補助金収入	0	2,000,000	△ 2,000,000
施設整備等寄附金収入		3,600,000	1,600,000	2,000,000	
固定資産売却収入		3,500	3,500	0	
設備整備等収入計 (4)		3,603,500	3,603,500	0	
支出	設備資金借入金元金償還支出	11,284,000	11,284,000	0	
	固定資産取得支出	5,765,640	5,765,640	0	
	設備整備等支出計 (5)	17,049,640	17,049,640	0	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 13,446,140	△ 13,446,140	0		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	420,000	210,000	210,000	
	その他の活動収入計 (7)	420,000	210,000	210,000	
	支出				
	その他の活動による支出	50,000	50,000	0	
その他の活動支出計 (8)	50,000	50,000	0		
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	370,000	160,000	210,000		
予備費支出 (10)	1,630,000	-	534,439		
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 1,095,561	1,723,621	△ 4,593,489		
前期末支払資金残高 (12)	55,031,220	55,732,799	△ 701,579		
期末支払資金残高 (11)+(12)	52,161,352	57,456,420	△ 5,295,068		

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収益				
	介護保険事業収益	69,571,230	68,318,597	1,252,633	
	老人福祉事業収益	60,126,009	59,772,069	353,940	
	就労支援事業収益	13,728,439	13,334,719	393,720	
	障害福祉サービス事業収益	101,006,120	91,687,544	9,318,576	
	ショートステイ事業収益	968,380	1,045,300	△ 76,920	
	その他の事業収益	0	1,557,000	△ 1,557,000	
	経常経費寄附金収益	430,000	300,000	130,000	
	サービス活動収益計 (1)	245,830,178	236,015,229	9,814,949	
	費用	人件費	159,129,696	150,770,348	8,359,348
事業費		35,712,027	34,801,074	910,953	
事務費		23,090,460	22,813,769	276,691	
就労支援事業費用		14,335,424	13,187,457	1,147,967	
減価償却費		31,325,784	31,640,072	△ 314,288	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 17,858,508	△ 17,933,549	75,041	
サービス活動費用計 (2)		245,734,883	235,279,171	10,455,712	
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	95,295	736,058	△ 640,763		
サービス活動外増減の部	収益				
	受取利息配当金収益	958	815	143	
	その他のサービス活動外収益	5,060,795	4,646,553	414,242	
	サービス活動外収益計 (4)	5,061,753	4,647,368	414,385	
	費用	支払利息	331,490	357,482	△ 25,992
		その他のサービス活動外費用	3,500,502	3,472,084	28,418
		サービス活動外費用計 (5)	3,831,992	3,829,566	2,426
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	1,229,761	817,802	411,959		
経常増減差額 (7)=(3)+(6)	1,325,056	1,553,860	△ 228,804		
特別増減の部	収益				
	施設整備等補助金収益	2,000,000	105,000	1,895,000	
	施設整備等寄附金収益	1,600,000	3,200,000	△ 1,600,000	
	固定資産売却益	3,500	0	3,500	
	特別収益計 (8)	3,603,500	3,305,000	298,500	
	費用	基本金組入額	600,000	3,100,000	△ 2,500,000
		固定資産売却損・処分損	6	0	6
国庫補助金等特別積立金積立額		2,000,000	105,000	1,895,000	
特別費用計 (9)	2,600,006	3,205,000	△ 604,994		
特別増減差額 (10)=(8)-(9)	1,003,494	100,000	903,494		
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	2,328,550	1,653,860	674,690		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)	87,608,810	86,304,950	1,303,860	
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	89,937,360	87,958,810	1,978,550	
	基本金取崩額 (14)	0	0	0	
	その他の積立金取崩額 (15)	0	0	0	
	その他の積立金積立額 (16)	0	350,000	△ 350,000	
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	89,937,360	87,608,810	2,328,550	

## 貸借対照表

(自) 平成29年4月1日 (至) 平成30年3月31日

(単位: 円)

	当年度末	前年度末	増減
<b>資産の部</b>			
流動資産	69,856,492	67,158,249	2,698,243
固定資産	431,700,267	458,886,909	△ 27,186,642
（基本財産）	397,629,680	418,703,964	△ 21,074,284
（その他の固定資産）	34,070,587	40,182,945	△ 6,112,358
資産の部合計	501,556,759	526,045,158	△ 24,488,399
<b>負債の部</b>			
流動負債	18,201,076	18,914,259	△ 713,183
固定負債	51,392,500	61,365,500	△ 9,973,000
負債の部合計	69,593,576	80,279,759	△ 10,686,183
<b>純資産の部</b>			
基本金	161,959,500	161,359,500	600,000
国庫補助金等積立金	173,963,823	190,694,589	△ 16,730,766
その他の積立金	6,102,500	6,102,500	0
次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	89,937,360 (2,328,550)	87,608,810 (1,653,860)	2,328,550 (674,690)
純資産の部合計	431,963,183	445,765,399	△ 13,802,216
負債及び純資産の部合計	501,556,759	526,045,158	△ 24,488,399

### 社会福祉事業区分

- ・ 本部拠点区分
- ・ ケアハウス鈴懸拠点区分
- ・ 鈴懸おはようヘルプ拠点区分
- ・ グループホーム桐の花拠点区分
- ・ 工房とんとん拠点区分
- ・ グループホームおひさま拠点区分

### 公益事業区分

- ・ ショートステイルーム拠点区分

※29年度決算書類の詳細はケアハウス鈴懸・事務所に常備してあります。ホームページ（メニュー「情報公開」）にも7～8月中には掲載する予定です。また、独立行政法人福祉医療機構（WAM-NET）及び全国社会福祉法人経営者協議会（全国経営協）のホームページによ公表されます。

<http://www.toureikai.com/>

## 工房とんとんに

実習生が来てくれました



長岡こども福祉カレッジの学生さんがとんとんで実習を行いました。フレッシユな2人はどんなことを感じたのでしょうか？感想を紹介します。

### ★東歩乃夏さん

今回、工房とんとんで13日間実習させていただき、たくさんの方々の関わりがありました。4つの班に入り、職員の方の支援の仕方や言葉かけを学ぶ事ができ、利用者の方ともたくさんコミュニケーションを取ることができました。また、普段できないことをたくさん経験させていただきました。今回の実習で学んだことを保育の現場でいかせるよう学びを深めていきたいです。13日間ありがとうございました。

### ★笠原聖矢さん

利用者の方たちが自分自身でできることに全力で取り組み、

とても明るく元気に作業されていて、とても居心地の良い施設でした。今回、職員の方たちの言動を見て感じたことは、利用者の方が自分でやれることはやってみてほしい、その動きを見守る、これこそが援助の基本となるのだと感じました。とても充実した13日間を送れたと感じています。ありがとうございました。



## 29年度ボランティア紹介

ありがとうございました

(敬称略・順不同)

### ★ケアハウス鈴懸

関ハツエ 宮崎なつ子  
行方ヒロ 関かなこ

羽賀悦子 湯本テイ

小尾アキ 牛木キクノ

井口征子 関 利

島村和代 井口光雄

大綱エツ子 佐藤良子

成田貢 牛木秀夫

佐藤剛 国際情報高校

大和中学校 多門青年団

### ★工房とんとん

榎本宏 山本佳果

南雲美津子 金子清美

広田セツ子

### ★グループホーム桐の花

行方弘子 豊野美佐子

今成春子 関勝造ご夫妻

戸田聡 田村善道

高橋満幸 富田文字

## 編集後記

今年も、梅雨の季節がやってきました。我が家でここ数年、子どもたちとシソジュースを作ることが、この時期の恒例行事になっていきます。食育を心がけているわけではないのですが、季節を感じられる子ども達との大切な時間になっています。

とんとんの横にあるあぐりパーク八色に置かれる地元農家さんの、立派なシソを見るとわくわくして、今年もこれで元気に夏が乗り切れる！と気合が入ります。

とんとんのパンもこの時期、あぐりパーク八色の夏野菜を使ったパンを出せるよう心掛けていますので、のぞいてみてください。

そして、夏の恒例行事、桐鈴会の夏祭り！毎年地域の皆さんと共に楽しめる日を待ちながら、梅雨のこの時期を楽しみたいと思います。

工房とんとん 中村和子

